

企画競争実施結果

令和5年3月23日
経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課制度審議室

事業名：令和4年度補正再生可能エネルギーの大量導入に向けた次世代型ネットワーク構築加速化事業

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
三洋テクノマリン株式会社	2010001044539	¥999,559,000
深田サルベージ建設株式会社	9120001029720	
海洋エンジニアリング株式会社	1010501011824	

(提案事業者名)

①三洋テクノマリン株式会社、深田サルベージ建設株式会社、海洋エンジニアリング株式会社

(審査委員属性)

大学教授

一般財団法人参与

大学教授

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
三洋テクノマリン株式会社 深田サルベージ建設株式会社 海洋エンジニアリング株式会社	81	64	71	216

提案事業者名	必須事項	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か。	実施方法等について成果を高めるための効果的な工夫が見られるか	事業の関連分野に関する知見を有しているか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、適正な積算が行われているか。	ワーク・ライフ・バランス等推進企業であるか。	適切な情報管理体制が確保されているか。また、情報取扱者以外の者が、情報に接することがないか。	合計
三洋テクノマリン株式会社 深田サルベージ建設株式会社 海洋エンジニアリング株式会社	適	65	28	43	43	25	0	12	216

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
三洋テクノマリン株式会社 深田サルベージ建設株式会社 海洋エンジニアリング株式会社	<p>提案書に記載された事業の実施方法は、募集要領に記載されている要求事項を満足していると判断する。ただし、以下の点については改善の余地があると思われるので、検討して欲しい。</p> <p>①可能性調査の机上検討に、津波、高潮、洪水等のハザードに関する情報、既存の航空写真等の揚陸地点周辺の海浜変形に関する情報を加える</p> <p>②沿岸部の地盤調査（特に力学特性）に関する調査の質と量を向上させる</p> <p>③漂砂調査の実施場所（特に水深）を当該地点の底質条件、調査期間中に予想される波浪条件をもとに意味のある調査となるよう適切に設定する</p> <p>④調査中止基準を、調査に使用する資機材・作業内容に応じて、作業の安全性の観点から法令を遵守し、同時に観測の精度を確保できるよう適切に設定する</p> <p>海底地盤調査、洋上風車での調査実績から所定の調査を遂行することは可能と判断している。ただし、海洋調査に特化しているため、本成果利用の観点からの調査項目として、揚陸部（海岸線付近）においての地盤調査が十分でないこと、海底地層の深部（表層地盤範囲）の状況把握をどこまでされるのか不明であること、岩露出部の調査方法（凹凸状況）、土壌熱抵抗などでの代表位置の選定方法などの調査内容を明確にする必要がある。</p> <p>先行利用者である漁業者に関しては、代表機関のみへの周知で留まるのではなく、可能な限り末端の漁業者まで周知できるように調整をして欲しい。</p>